

平成27年度学校目標設定報告書(全日制)

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<教育課程> 生徒の多様な進路希望に対し、生徒にわかりやすい総合学科としてのカリキュラム編成を再検討し実現を図る。	①履修科目指導、進路説明会など、生徒の進路実現に向けたガイダンスを実施するとともに、「産業社会と人間」などを通しキャリア意識の具現化を図る。 ②特色ある科目を中心に「いのちの尊重に関する教育」をより充実させる。 ③総合学科としての特性と本校の特色を活かしたカリキュラム編成の再構築を図る。 ④外部教育機関と連携し幅広い学習機会を提供することにより、学習内容の深化・充実を図る。	①の取組みを通し、生徒の進路意識を高め、希望に応じた科目選択ができていないか。 ②特色ある科目を中心に生徒に意識付けることができたか。 ③カリキュラムの再構築ができたか。 ④外部機関との連携を拡大できたか。
<生徒指導・支援> 生徒の規範意識の確立を図り、豊かな心の育成に向けた取組みを充実させる。	① 集会やLHRでの生活指導を通し、生徒の規範意識の向上と社会性の醸成を図る。 ② 教育相談コーディネーターを中心としてケース会議等を定期的に開催するなど教育相談支援体制を充実し職員の共通理解を深めるとともに、スクールカウンセラーや外部関係機関、専門機関との連携を図る。 ③ 様々な機会を通じて、生徒・保護者からの相談に対応する。	①～③の取組みにより生徒が整然と集中して授業に取り組み、充実した学校生活を送れているか。
<学習指導・授業改善> (1) 基礎的学力の定着と発展的学力の伸長を図る。 (2) 授業改善による生徒主体の授業を推進する。	(1) ①確かな学力の育成に向け、各教科で身に付けさせたい力について共通理解を図り、教科としての授業改善や補講、講座の充実を推進する。 ②基本的な知識及び技能の習得のため、共通テストの導入と習熟度別学習のより効果的な展開を推進する。 (2) ①研究授業などを通しアクティブラーニングなど授業展開の新たな取組を行う。 ②グループ学習や発表型授業など生徒が主体となる授業を推進し、プレゼンテーション能力を高める。	(1) 教科として組織的な授業改善ができたか。 (2) 生徒が主体的に授業に取り組み、積極的に発表しているか。(生徒による授業評価等)
<キャリア教育> (1) 生徒の進路実現に向け体系的なキャリア教育を実施する。 (2) 授業や部活動を通じてリーダーの育成と社会性の向上を図る。	(1) ①キャリア教育実践プログラムの検証を行い、改善に向け検討を行う。 ②インターンシップ等への積極的な参加とシチズンシップ教育を推進する。 ③「秦総大学進学支援プロジェクト」を展開し大学受験者への支援を行う。 ④進学・就職の情報共有に向け「秦総ライブラリー」の創設を図る。 (2) 授業での積極的な発言・発表、行事への参加促進を図り、リーダーの育成と社会性の向上を推進する。	(1) ①～④の取組みを通し、生徒が満足感を得ることができたか。 (2) 生徒が積極的に授業や部活動、行事に取り組んだか。(生徒による授業評価、担当者評価)

<p><地域連携></p> <p>(1) ボランティア活動、あいさつ運動を核とした地域との連携を深める。</p> <p>(2) 防災教育の充実を図る。</p>	<p>(1) ①ボランティアバンクを活用し、様々なボランティア活動を行うことにより、地域との連携と生徒のコミュニケーション能力の育成を推進する。</p> <p>②地域協議会等との連携によるあいさつ運動や交通安全運動などの活動を通し、生徒の自己有用感を高めるとともに、近隣の幼小中学校などと様々な場面で連携を深める。</p> <p>(2) ①集会やLHRで防災教育を恒常的に実施し、防災意識の向上を図る。</p> <p>②地域と連携し、地域での防災活動への参加を推進する。</p>	<p>(1) 生徒が積極的にボランティアに参加するとともに、地域連携への意識の向上が図れたか。</p> <p>(2) 生徒に防災意識が醸成されたか。</p>
<p><学校運営・管理></p> <p>(1) 安全管理・危機管理等を踏まえた連携体制を整備する。</p> <p>(2) 年齢層の違いを踏まえた教職員の連携を通し、人材育成及び事故防止を図る。</p>	<p>(1) ①全職員で現状認識と情報の共有化を図り、積極的に学校運営に参画する当事者意識の向上を図る。</p> <p>②円滑な業務遂行のため、業務引継書作成を行い、課題を検証し改善を図る。</p> <p>③若手教職員への学校独自の研修を行い、意識を高める。</p> <p>④サービスや個人情報の管理、部活動等における事故不祥事防止の研修会を通し、事故不祥事防止の徹底を図る。</p> <p>⑤業務遂行等の検証を行い、業務の効率化、事故防止を踏まえたグループ再編を検討する。</p> <p>(2) ①業務遂行において、主担当だけでなく副担当が積極的に関わることにより若手教員とベテラン教員の業務協力を推進することにより、人材育成を図る。</p> <p>②グループ、年次、教科といった網目状の連携を通し、細かな疑問もそのままにせず学校運営の改善を図る。</p>	<p>(1) 職員の意識向上と前向きな姿勢を引き出すことができたか。(教職員アンケート)</p> <p>(2) 教員の相互理解と協力体制がより深まったか。(教職員アンケート)</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p>		
<p>安全・安心な環境の中で、生徒が高校生らしく学習活動や部活動に生き活きと取り組み、地域や保護者から信頼される学校づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりの個性を生かした進路選択に対応できる教育を展開する。 ○ 学習活動を充実させ、自ら学習する態度を育成するとともに基礎学力の定着を図る。 ○ 基本的な生活習慣を確立させ、心身ともに健康な人間を育成する。 ○ キャリア教育を推進し、社会性を育成するとともに個々の進路実現を支援する。 ○ ボランティア活動を推進し、地域に感謝して社会に貢献する豊かな心を育成する。 ○ 安全・安心・快適な学習環境を維持管理し、信頼される学校づくりを推進する。 		